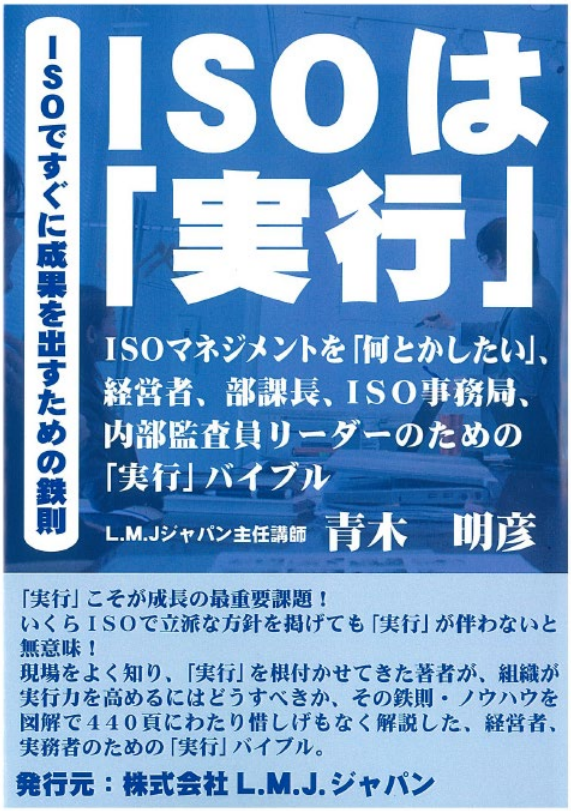
L.M.J.ジャパン　新刊案内



ISOは「実行」

ISOマネジメントを「何とかしたい」経営者、部課長、ISO事務局、内部監査員、リーダーのための「実行」バイブル

■ 著者：L.M.J.ジャパン主任講師　**青木　明彦**　440頁（A5）
■ 価格：￥3，850　税込（送料198円）
■ 発刊元：（株）L.M.J.ジャパン

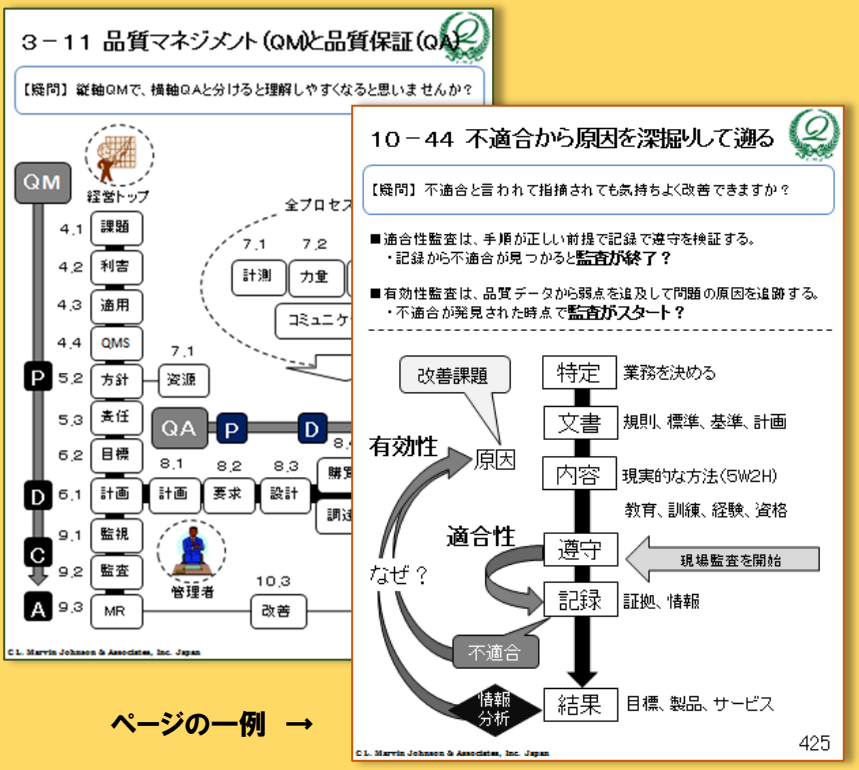
いくらISOで立派な方針を掲げても

「実行」が伴わないと無意味！

「実行」こそが成長の最重要課題！

現場をよく知り、「実行」を根付かせてきた著者が、組織が実行力を高めるにはどうすべきか、その鉄則・ノウハウを図解で440頁にわたり惜しげもなく解説した、

経営者、実務者のための「実行」バイブル！



ページの一例　→

IRCA 認定マネジメント審査員研修機関（QMS/EMS/OHS）
ISO9001/14001/ 27001/45001/FSSC・ISO22000 研修

株式会社 L.M.J. ジャパン
L. Marvin Johnson & Associates, Inc. Japan

L.Marvin Johnson & Associates, Inc.
Pioneer &World Leader In Auditor Training
Since 1959

■ 東京研修センター：〒113-0033　東京都文京区本郷 1-11-14
TEL：03-3868-0955

ご注文はこちらまで

http://www.lmj-japan.co.jp/book

内容のご紹介

大手優良グローバル企業の品質保証部長として長年 ISO9001 の運用と改善に関わり、現在はその経験を活かし ISO 審査員養成機関である L.M.J ジャパンにて主任講師を務める著者が、ISO を効果的に「実行」するための考え方やノウハウ等をまとめた 1 冊。単なる規格解説ではなく、ISO に関わる人々が長年持っている「疑問」と、その疑問を解消し、実行するための考え方やノウハウ等を、さまざまな事例やイラスト等を交えて掲載したページ構成で、読みやすく、わかりやすく、そしてすぐに「実行」に役立つ内容となっております。これから ISO の認証取得を目指す組織の皆様はもちろん、ISO の効果的な運用にお悩みの経営者、ISO の実務者の皆様に是非お勧めの 1 冊です。

■ 各章の内容

第1章 ISO 第三者認証を振り返る
- 2007年日本の神話が崩れた年
- ISO9001:1987 年版の導入目的
- 経営トップが ISO／QMS に不満
- ISO9001：2015 年版を理解する方法
- 要求事項を業務の流れに合わせる
- 組織に ISO9001 の専門家が必要
- プロセスの特定方法に問題

第2章 既存の QMS を改善する
- 経営者層の期待と不満を聞く
- 管理者層の QMS 疑問を解消する
- ISO 事務局の役割を変える
- 内部監査員の監査技術を向上

第3章 品質マネジメントシステム
- ISO9001:2015年版の意図
- 管理者に QMS 改訂の責任を持たせる
- 利益向上に機会とリスクが必須
- 管理するリスクの特定方法
- 日本の「会社法」にリスク管理を適用
- 品質マネジメント(QM)と品質保証(QA)
- キーワードを繋いで QMS 全体を把握
- 階層別の QMS 軸足(箇条番号)
- 市販されている汎用計測器の管理
- 社内設計の専用計測器

第4章 手順書と記録の文書体系
- ISO9001：2015年版の利用価値
- 外部文書の最新版入手と周知
- 手順書を作成する細かさが異なる
- 業務フローチャートの作成ポイント
- 経営トップが品質ゲートに関与
- 品質保証フローチャート(組織全体)
- 業務フローチャートと帳票(各プロセス)
- 課員に帳票で業務を指示

第5章 コミットメントとリーダーシップ
- 経営トップが意図する QMS 戦略
- 経営トップのリーダーシップ
- 品質情報のエスカレーション
- マネジメントレビューの議題と報告内容
- 事業活動の社会的責任を果たす

第6章 年度方針と品質目標
- 組織の課題が中期計画と年度計画
- 品質実績データから年度目標を設定
- 重点課題に合致した目標値を設定
- 課員に業務を指示するポイント
- 管理者の方から課員に声掛け
- 課員の前で業務の愚痴を禁止

第7章 社員の人材育成
- 業務を遂行する力量と認識
- 課員の教育・訓練記録
- 社内教育・研修の効果を測定
- 課員には、組織の擁護で教育
- 社内研修を行う講師の力量
- 管理者のマネジメント教育が不足

第8章 製品実現化の品質保証
- 新規技術・要素確立の研究・開発
- 製品の事業審議(品質ゲート)
- 顧客の追加要求や変更依頼を管理
- 法規制をプロセスの帳票で遵守
- 過去のトラブル事例が使えない
- 外部提供者の評価・選定
- 事前協議で問題を解決
- 品質データの信頼性を見抜く
- 特殊工程の妥当性確認を重視
- 品質問題が発生する要因
- ヒューマンエラーが起こる要因
- 補助材料の保管庫に着目
- 問題点の原因と対策が不一致

第9章 監視、測定、分析、改善
- 品質データの集計と分析の違い
- 顧客クレームの初期対応が肝心
- 是正処置と予防処置の違い

第 10 章 内部監査
- 監査の分類と目的の違い
- サプライヤー監査の目的と役割
- 組織の問題も顕在化して対応
- 内部監査員の責任と権限
- 舞台俳優と映画俳優の違い
- 過去を指摘するより未来を検証
- 不適合を改善課題に変える質問
- 監査テーマに対する結論を報告

ご注文お申込書フォーム

Web でご購入の方 →→→

E-mail: scarlet@lmj-japan.co.jp　Tel：03-3868-0955　Fax：03-5842-6691

数　量	冊	送付先	〒
会社名		部署名	
氏　名		電話番号	FAX 番号
メール		ご要望等	